

# KORG

**Pa** professional arranger  
**9000**

オペレーティング・  
システム 1.3

# KORG Pa900 - オペレーティング・システム・バージョン1.3

## バージョン1.3の新機能

オペレーティング・システム・バージョン1.2では、以下の機能が追加または変更になります。

コントローラー	ページ
VOX V860ボリューム・ペダルとの互換性の追加	3
ボリューム/エクスプレッション・ペダルのカーブ・プリセットの追加	3

Media>Utilityページへ移動し、ディスプレイの下側に表示されているバージョン・ナンバーを確認してください。

新しいオペレーティング・システムのロードについては、コルグ・ホーム・ページ([www.korg.com](http://www.korg.com))にあるインストール・フォルダーに含まれている説明書をお読みください。

オペレーティング・システムにアップデートしたら、Media > Utility > Factory Restore コマンドで新しいグローバル設定をロードしてください。他のリソースを上書きしないように、RestoreダイアログでGlobalのみチェックしてください。

**Warning:** Factory Restoreコマンドを実行する前に、今あるすべてのデータをストレージ・デバイスに保存しておいてください。既存のミュージカル・リソースは、Media > Save ページで保存できます。

**Hint:** 新しいオペレーティング・システムのロード後に、タッチビュー・ディスプレイ(Global > Touch Panel Calibration)とペダル/フット・スイッチ(Global > Controllers > Pedal/Switch)のキャリブレーションを行う必要があります。

## 前のOSバージョンで追加された機能

### バージョン 1.2

オペレーティング・システム・バージョン1.2では以下の機能が追加されました。

Globalモード	ページ
Chord Recognitionのオプションに「Fingered (3 Notes)」を追加およびオプションFingered の名称変更	2
Velocity curveオプションの変更	3
MIDIプリセット「Tablet」追加	4
<b>ソングブック</b>	
ソングブックとソフトウェアの同期	4
<b>ミュージカル・リソース</b>	
グローバル・ファイルの更新	4

### バージョン 1.1

オペレーティング・システム・バージョン1.1では以下の機能が追加されました。

Globalモード	ページ
MIDI出力のControl Channel	3
マイクとライン入力の同時使用	4
<b>ミュージカル・リソース</b>	
ミュージカル・リソースの更新	4

## Globalモード

### Chord Recognition のオプションに「Fingered (3 Notes)」を追加およびオプション Fingered の名称変更 [1.2]

Chord Recognitionパラメーターのオプションに“Fingered (3 Notes)”を追加しました。また、従来のオプション“Fingered”の名前を“Fingered (1 Note)”に変更しました。

Global > Mode Preference > Style > Chord Recognition パラメーターの説明が変更になります。

### Chord Recognition

このパラメーターでアレンジャー(自動伴奏エンジン)がどのようにコードを認識するかを選択します。

CHORD SCANキー状態によって、コード認識モードは自動的に次の表のようにセットされます。

Chord Recognition Mode	
CHORD SCAN = LOWER	CHORD SCAN = UPPER/ FULL KEYBOARD (LOWER+UPPER)
One Finger	Fingered (3 Notes)
Fingered (1 Note)	Fingered (3 Notes)
Fingered (3 Notes)	Fingered (3 Notes)
Expert	Expert

One Finger 次の演奏方法によってコードを指定できます：

- 単音を演奏するとメジャー・コードになります。
- ルート音を鍵盤で指定し、その左隣の白鍵を演奏するとセブンス・コードになります。例えば、C3とB2を同時に弾くとC7になります。
- ルート音を鍵盤で指定し、その左隣の黒鍵を演奏するとマイナー・コードになります。例えばC3とBb2を同時に弾くとCマイナーになります。
- ルート音を鍵盤で指定し、その左隣の白鍵と黒鍵を演奏するとマイナーセブンス・コードになります。例えばC3、B2、Bb2を同時に弾くとCm7になります。

### Fingered (1 Note)

CHORD SCANがLOWERの場合、単音または複数のノートでコードを指定できます。単音を弾いた場合はメジャー・コードになります。

CHORD SCANがUPPERまたはFULLの場合、最低3音を同時に押さえるとコードとして認識されます。

### Fingered (3 Notes)

コードを認識させるためには、3音またはそれ以上のノートを弾く必要があります。

### Expert

CHORD SCANがLOWERの場合、単音または複数のノートでコードを指定できます。CHORD SCANがUPPERまたはFULLの場合、最低3音を押さえるとコードとして認識されます。

単音を弾くとユニゾンとして演奏されます。また、5度のノートを弾くと“ルート+5度”のコードになります。

このモードでは、ジャズやフュージョン、ポップスなどでよく使われるルートを演奏しないコードや分数コードを演奏することができます。このタイプのコードはジャズ・ピアノ特有のコードを演奏する際に非常に便利です。この時、必ずしもルート音やすでにベース・トラックで演奏しているノートを弾く必要はありません。

## Velocity curve オプションの変更 [1.2]

Global > Controllers > Hand Controllers ページ > Keyboard Settings の “Velocity Curve” のオプション [Fix] を削除し、[Fixed] が追加になります。

### Velocity Curve

Fixed タッチの強弱に反応せず、音色や音量は常に一定です。Fixed を選択したときは、ペロシティの値を設定できます。



## VOX V860 ボリューム・ペダルとの互換性の追加 [1.3]

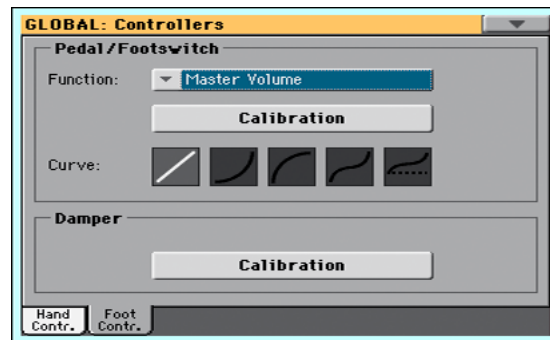
VOX V860 ボリューム・ペダル(別売)が使用できます。

## ボリューム / エクスプレッション・ペダルのカーブ・プリセット [1.3]

**Note:** OS v1.3をインストールしたときは、ボリューム/エクスプレッションペダルのカーブを選択してください。以前の設定が機能しなくなることがあります。

ボリューム/エクスプレッション・ペダルに割り当てられている機能によっては、カーブを選択してペダルがその機能にどのように影響

するかを設定できます。適用されないカーブはグレー表示になります。



1. エクスプレッションペダルを接続し、キャリブレーションを行い機能を選択します。プリセットされたカーブは、一部の機能でのみ選択できます。
2. Curve ボタンをタッチして、カーブを選択します。

Curve	意味
	直線的なカーブ(Bカーブ)。
	指数関数的なカーブ(Aカーブ)。ペダルを踏み込むほど大きく変化するカーブです。
	対数関数的なカーブ(Cカーブ)。ペダルの踏み始めに大きく変化します。
	S字型カーブ。ペダルの踏み始めと終わりが大きく変化し、中間ではゆっくり変化します。
	オフセットを持つS字型カーブ。S字型カーブと同じですが、ゼロより高い値から始まります。

## MIDI 出力の Control Channel [1.1]

Global > MIDI > MIDI Out Channels ページの “Channels” のオプションに Control Channel が追加になります。Ch01~Ch16 のいずれかのチャンネルで Control Channel を指定すると、ソングブック・エントリー選択時に Control Channel を指定した MIDI チャンネルで MIDI メッセージを送信します。

ソングブック・エントリー選択時、以下のメッセージが送信されません。

- 初期化文字列：NRPN コントロール・チェンジ・メッセージ CC#99 (MSB、値2) と CC#98 (LSB、値 64)。
- 選択文字列：千および百の位向けの CC#06 (データ・エントリー MSB) と、十および一の位向けの CC#38 (データ・エントリー LSB) の2つのコントロール・チェンジ・メッセージ。データ・エントリー・コントロールの範囲は、標準的な0~127ではなく0~99です。

これらのデータは、外部エディターで受信して使用することができます。

### MIDI プリセット「Tablet」の追加 [1.2]

Global > MIDI > General Controls ページ、MIDI Preset “Preset” のオプションに「Tablet」が追加になります。このMIDI プリセットは、ソングブックとタブレット端末上のソフトウェアとの同期を可能します。また将来的に、MIDI#1 16チャンネルを使用したコントロール機能を実装する予定にしています。

### マイクとライン入力の同時使用 [1.1]

Audio & Video > Audio In ページの “Input Routing” で Left In to Voice Processor を選択したときに、Lチャンネルをマイク入力、Rチャンネルをモノラルのライン入力として使用することができます。右チャンネルのモノラル信号は両方のオーディオ・アウトから出力されます。MP3の録音時も同様です。

## ソングブック

### ソングブックとソフトウェアの同期 [1.2]

PCやタブレット端末上のソフトウェアでソングブックの編集が可能になります。

「KORG SongBook Editor」を使用すると、Windows PC上で1つのエントリーや、ソングブックのデータベース、カスタム・リストを編集することができます。

また、BauM Software社の「SongBook+ for iPad」やZubersoft社の「MobileSheets for Android」を使用すると、タブレット端末とソングブック・エントリーとを同期させたり、歌詞や楽譜をタブレット端末に表示させることができます。

その他にも開発中のソフトウェアがあります。それらのリリースに関する情報をKORG Webサイトに掲載する予定にしておりますので、定期的にご確認ください。

## ミュージカル・リソース

オペレーティング・システムをバージョン1.1へアップデートしたときは、Media > Utility > 「Factory Restore」コマンドでミュージカル・リソースを更新します。ミュージカル・リソースはオペレーティング・システムとともにロードされますが、このコマンドを使用して更新してください。

オペレーティング・システムをバージョン1.1からアップデートした場合は、グローバル設定だけをロードしてください。他のリソースを上書きしないように、RestoreダイアログでGlobalのみチェックしてください。

Warning: ミュージカル・リソースをアップデートする前に、以前のデータをストレージ・デバイス等に保存してください。

### ミュージカル・リソースの更新 [1.1]

既存のミュージカル・リソースを更新すると、新しいオペレーティング・システム・バージョン1.1に最適化されます。

### グローバル・ファイルの更新 [1.2]

MIDIプリセットに「Tablet」が追加になります。

# Appendix

## Improvements and bug fixes

### Improvements in OS 1.30

Area	Improvement
Various	General performance improvements.

### Improvements in OS 1.20

Area	Improvement
Boot	The start-up procedure is now faster.

### Improvements in OS 1.10

Area	Improvement
Global Reverb Offset adding reverb to the Microphone	The FX Level parameter (in the MIC SETTING section of the control panel, or the Global > Mic > Effects page) sets the level of the effects on the Microphone. When set to '0', no effect should be heard on the Microphone. A bug caused some reverb to be heard when increasing the Global Reverb Offset value (Global > General Controls > Basic page).
Manual Bass and the automatic accompaniment	Sometimes, activating the Manual Bass did not turn the automatic accompaniment off.
Synchro Start and Quarter Tone	When the Synchro Start function was turned on, the Quarter Tone function assigned to an Assignable Switch or Footswitch did not work.
Copy & Paste of Styles and Performances	When the Auto Select function was activated for Styles or Performances (Global > General Controls > Interface), pasting a Style or Performance over an existing item was not allowed. Now you can overwrite any existing Style or Performance.
Chord Harmony mode and Songs	When playing a Song, the Chord Harmony mode did not work when notes were received from a Song's track (Global > Mic > Harmony > Song Control = Chord).
Scalic Harmony mode	The Scalic Harmony mode did not always work correctly.
RX Noise notes recording	When recording a Style pattern, RX Noise events were recorded as ordinary notes instead of RX Noise events.
Multisample deletion	After deleting a Multisample, some Sounds could no longer play correctly.
Deleting a Drum Kit's layer	When editing a Drum Kit's Key, decreasing the number of layers would cause a default Drum Sample to be assigned to the highest-numbered layer in the next Key.

### Improvements in OS 1.01

Area	Improvement
Harmony change	After stopping the Style or a Song, turning the Split on/off, or choosing a different Chord Scanning mode, the first chord played after the change was not sent to the Voice Processor's Harmonizer, unless it was different than the chord already in memory.
Selected Style or Performance LED	When choosing a Performance with the Style Change option activated, the wrong Style LED could be switched on when the Style was automatically selected by the Performance.
MP3 Songs, Master Transpose change and Tempo reset	If the Master Transpose was changed, any Tempo change to an MP3 Song was reset (but the Tempo set by the user was still shown in the display).
Transpose on MIDI	Master Transpose was not applied to notes sent over the special Chord MIDI channels.
USB Connect	Sometimes, the Pa900 internal storage device could not be unmounted properly from the Mac's Finder (with Mac OS X prior to version 10.7.5).

# **KORG**

**Address**

KORG ITALY SpA  
Via Cagiata, 85  
I-60027 Osimo (An)  
Italy

**Web**

[www.korg.com](http://www.korg.com)

# **KORG INC.**

4015-2 Yanokuchi, Inagi-City, Tokyo 206-0812 JAPAN

© KORG Italy 2014. All rights reserved

[www.korg.com](http://www.korg.com)  
Published 09/2018